

新市立恵那病院 11月21日(月)開院

昨年3月から工事を進めてきた市立恵那病院再整備事業の本體工事が完了しました。

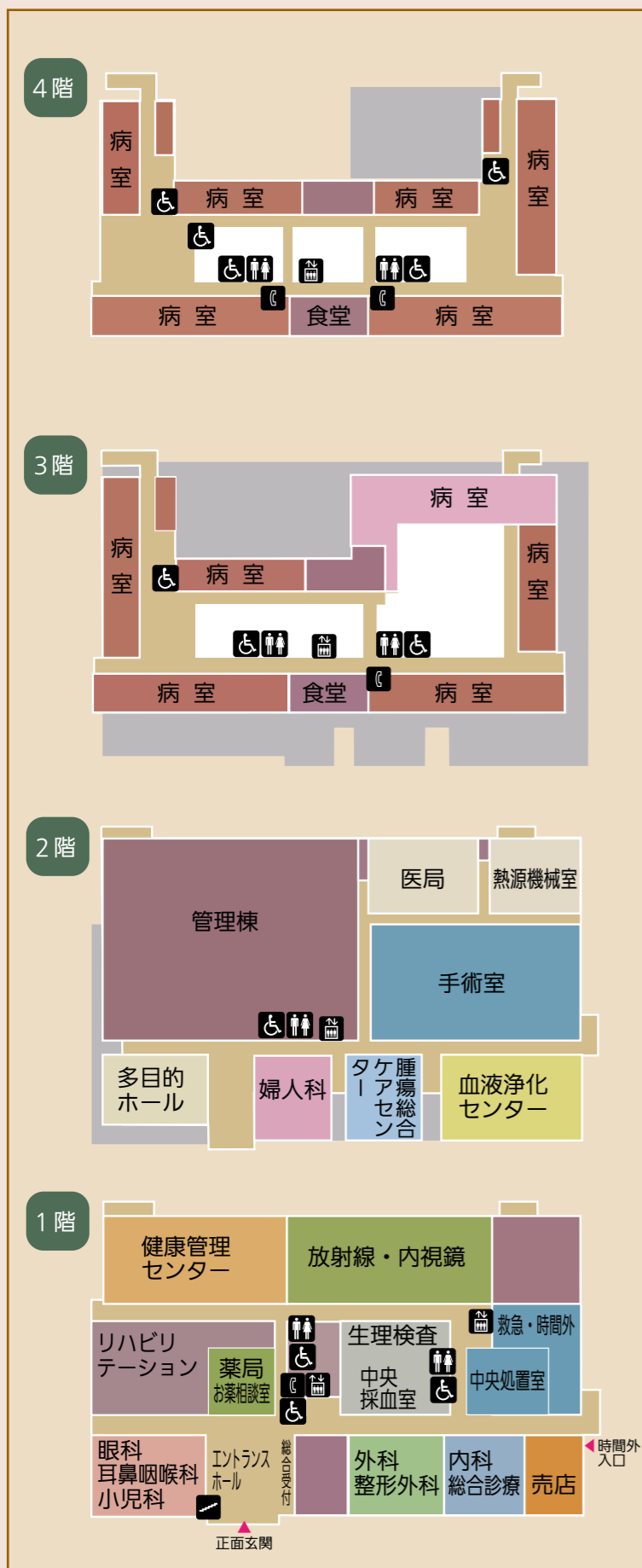
新しい病院は、恵那らしさを表現するため、栗色を主体とした色彩を取り入れ、鉄筋コンクリート造りの地上4階建てで延べ床面積は1万6498平方メートル。旧病院の東隣に建てられ、市の公共施設では初めて免震構造を採用しました。

病床数の199は従前と同じですが、新たに腎臓内科が加わり、20診療科になります。市民待望の産婦人科の開設も決まっております。来年秋ごろからお産の受け入れができるよう準備を進めていきます。そして、血液浄化センターと健康管理センターを新たに設置し、血液透析の開始や検診、保健指導の充実を図ります。

市では今後、旧病院の一部取り壊しや外構工事などを予定しており、全体の工事は平成29年度末の予定。総事業費は85億5200万円の見込みです。

□問い合わせ 地域医療課
26-2111 (内線271)





●診療科目と受付時間●

□診療科目 内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科(新設)、老年内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、肛門外科、乳腺外科、整形外科、小児科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、救急科、麻酔科

□受付時間 【午前】▶月～金＝8時半～11時半(眼科は11時まで)▶土＝8時～11時 【午後】月・木の小児科以外は救急と予約診療のみ ▶月～金＝1時半～3時(小児科は3時半まで)

□引越しに伴う救急受け入れ停止期間 11月18日(金)～20日(日)午後5時

□外来の休診日 11月18日(金)、19日(土)

□開院日 11月21日(月)

明るい院内で小児科の木のオブジェも温かみがあります。産婦人科ができることで、子どもが増えるといいですね。



中野方町
安江結衣さん[Ⓜ]
かおりさん[Ⓜ]



必要かなと心配になります。



長島町永田
篠原梢さん[Ⓜ]
長島町中野
北野三代子さん[Ⓜ]

病室から見える景色が良く、後の大変なときも頑張れそう。小児科のデザインもかわいかった。



大井町
藤原淳行さん[Ⓜ]
多央君[Ⓜ]
恵梨子さん[Ⓜ]

内覧会
参加者の声

竣工式の翌日、10月16日に行われた内覧会には、1345人という多くの方々にも新病院の雰囲気や設備などを見学していただきました。

豊かな自然と調和する落ち着きの空間

充実した健康管理センターを紹介

最新の装置による高精度の健診を提供

新病院の開院に伴って、健康管理センターを新たに設置しました。精度の高い検査と保健指導の充実により、市民の健康をサポートしていきます。

1階に独立して配置

新病院の健康管理センターは、1階に独立して整備されました。市立恵那病院では、これまでも健診を実施してきましたが、場所が2階で独立しておらず、エレベーターもありませんでした。また検査機器のほとんどが外来の診療と共用で、健診を受診される方に院内の各科を巡回していた、大変な状況でした。

新病院ではセンター専用の玄関を設置（平成29年度完成）。受け付けや会計もセンター内でできるようにし、外来や見舞いの方となるべく会わないように配慮しました。

これまで1日の健診は、8人が限界でしたが、新しいセンターでは1日に25人まで健診ができるように設計されています。

スペースとスタッフを効率的に運用

スペースとスタッフの効率的な運

用を考慮しました。一つの検査項目に一つの部屋を割り当ててしまうと、全体で多くのスペースを必要とし、またスタッフが検査のたびに一緒に移動しなければなりません。センターでは、少ない部屋で検査を実施できるように、スタッフの動線を中心に考えました。例えば、部屋を薄暗くして行う目に関する検査で



▲複数の装置が設置されている生理検査室

は、眼底、眼圧、視力の三つの検査装置を一つの部屋に集めました。生理検査室には、超音波、心電図、肺機能、血圧脈波の4台の装置を集め、担当の技師が対応します。これを別の部屋で行うと、心電図検査のため、超音波検査のためと、検査ごとに寝たり起きたりを繰り返すことになりませんが、同じ部屋であればその負担を減らすこともできます。

全て最新の装置を用意

乳がん検査で使用するマンモグラフィや、骨粗しょう症の検査で使用する骨密度測定器もより高精度の装置をそろえました。

マンモグラフィは、トモシンセス画像という乳房の断層写真が撮れるもの。平面ではなく立体的に画像を見て診断ができますので、これまで見付けにくかった乳がんの発見につながることがあります。

骨密度装置では、通常、腰の骨の写真を正面から撮りますが、横向き



▲聴力検査用のボックスを廊下の脇に配置

健康管理センターでは、健診で使用する装置は全て最新のものを用意しました。より高精度な健診と保健指導の充実で市民の皆さんの健康をサポートしていきます。



▲乳房のスライス撮影も可能なマンモグラフィ



▲骨密度測定装置は正面からに加え側面からの撮影も可能に

新病院開院を見据えバスの時刻を調整

新病院の開院を見据えて、通院の利便性向上を図るため、10月3日に市自主運行バスなどの時刻を改正しました。

病院の受付時間に配慮した運行時刻となっています。病院へは、明知鉄道や市自主運行バスを利用してはいかがでしょうか。

□主な改正内容

- ①中野方線 病院の受付時間に間に合うよう調整（恵那病院前バス停に8時8分着）
- ②恵那病院線 明知鉄道との接続を調整（恵那駅で平日9便が恵那病院線と明知鉄道の接続を15分以内に）
- ③案内表示 病院を起点としたバス利用案内を設置（恵那病院を起点に5路線（恵那病院線、丸池線、飯地線、毛呂窪線、中野方線をまとめて表示）

□問い合わせ 観光交流課（内線386）

森林環境税で家具を作製

市立恵那病院の再整備に当たり、伐採したナラを新病院に取り入れるため、「清流の国ぎふ森林環境税」を活用して、ナラ材から家具を作製しました。

□設置場所 2階コミュニケーションモール、3階食堂（共用・産科）、4階食堂（共用）



▲3階食堂